

2025年度事業報告

公益法人日本スカッシュ協会は、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会及びイベント

○第36回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程:2025年(令和7年)5月31日・6月1日

会場:Greetings Squash Yokohama

参加人数:68名

○第36回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会

日程:2025年(令和7年)8月13日～16日

会場:Greetings Squash Yokohama

Greetings Squash Saitama

Squash Magic Academy Squash&Golf

参加人数:186名(日本人77名)

○文部科学大臣杯争奪第54回全日本スカッシュ選手権大会(冠は予定)

<令和7年度スポーツ振興基金助成申請>

日程:2025年(令和7年)11月13日～16日

会場:Greetings Squash Yokohama・トレッサ横浜

参加人数:選手権132名・マスターズ56名

※高円宮承子女王殿下のご観戦ございました

○2025JSA ジュニアチャレンジカップ

日程:2025年(令和7年)12月26日～27日

会場:Squash Magic Academy Squash&Golf

参加人数:98名

○第31回スカッシュマスターズカーニバル

日程:2026年(令和8年) 1月17日～18日

会場:Greetings Squash Saitama

参加人数:56名(ダブルエントリー104名)

○JOC ジュニアオリンピックカップ第30回全日本ジュニアスカッシュ

選手権大会

日程:2026年(令和8年)3月27～29日

会場:Greetings Squash Yokohama

参加人数:144名

■専門委員会活動報告

<規則公認委員会>

協会内の規程の整備と啓発に力を注いだ。

- ① 協会規程の見直し・整理
 - ② 不足規程の洗い出しと策定
 - 「表彰規程」
 - ③ ガバナンスコード適合審査自己説明の作成と発表
 - ④ 研修会開催・参加
 - ガバナンス及びコンプライアンスに関する研修及び講習会への参加
 - JOC 主催「ガバナンスコード研修会」参加(7月・11月)
 - スポーツ庁主催「ガバナンスコードに関するワークショップ」(26年1月)
 - 役員・正会員・公認審判員、コーチ、トレーナー向けガバナンス研修会開催(3月)
- ※2025年度スポーツ振興くじ助成事業

<選手強化委員会>

- ① 2025年度ナショナルチーム海外派遣事業報告
 - 別紙参照
- ② 国内強化事業
 - スカウト練習会
 - 年間8回開催
 - 会場 Greetings Squash Yokohama
 - 対象 スカウト選手・ジュニア強化指定候補選手(数名)
 - ジュニアナショナル強化合宿①
 - 開催日 2025年8月18日・19日

- 会場 Greetings Squash Yokohama
 - 参加者数 10名(ジュニアナショナル選手)
 - ジュニアサマーキャンプ
 - 開催日 2025年8月18日
 - 会場 Greetings Squash Yokohama
 - 参加者数 9名(スカウト選手)
 - ジュニアナショナル強化合宿と同時開催
 - 西日本ジュニアキャンプ
 - 開催日 2025年10月31日
 - 会場 セントラルフィットネスクラブアルパーク店
 - 参加者数 13名(スカウト選手・一般選手)
 - ナショナル強化練習会(海外コーチ招聘事業)
 - 開催日 2025年12月12日～17日
 - 会場 Greetings Squash Yokohama・ティップネス宮崎台・Greetings Squash Saitama
 - 招聘コーチ Au Chun Ming(香港)
 - 参加者数 12名(ナショナル選手)
 - ジュニアウインターキャンプ
 - 開催日 2026年2月1日
 - 会場 Squash Magic Academy Squash&Golf
 - 参加者数 12名(スカウト選手・一般選手)
 - ジュニアナショナル強化合宿②
 - 開催日 2026年3月20日・22日
 - 会場 Greetings Squash Yokohama・新横浜貸会議室
 - 参加者数 12名(ジュニアナショナル選手・選手強化委員会推薦選手)
 - ナショナル強化合宿
 - 開催日 2026年3月30日
 - 会場 Greetings Squash Yokohama・新横浜貸会議室
 - 参加者数 9名
- ※JOC 強化本部長の視察あり

③ コーチング部会活動報告

- アジア連盟コーチ委員会との連携
- 公認コーチレベル1講習会の開催
 - 2025年12月29日・30日(合格者3名)
- 公認コーチ及び公認普及トレーナーの資格更新
- 公認コーチ及び公認普及トレーナーの講習会テキストの修正・更新

- ④ アスリート育成パスウェイ及びコーチ育成パスウェイの作成
 - 日本スポーツ振興センター主催のアスリート育成パスウェイのための研修会(アドバンスコース)に参加(3回)
 - 選手育成のための仕組み作り
 - 指導者育成のための仕組み作り

<競技委員会>

- ① 公認大会の認定及びランキングの作成
- ② 公認大会運営マニュアルの適正運用と見直し
- ③ 協会主催大会における競技関係業務のサポート
- ④ 協議関連の規定・ルールに関する整備と見直し

<レフリー委員会>

- ① レフリー委員会ミーティング(オンライン)
 - 月1回ペースでレフリー委員会を開催(レフリー委員:15名)
 - 国内におけるレフリーに関する課題の洗い出し、施策の洗い出しを実施
 - 優先順位を付けて、施策を順次実施
 - 大会イベントへの施策
 - ・大会向けレフリーガイドラインの策定、POP(チラシ)の導入
 - レフリー資格への施策
 - ・レフリー講習会・試験の見直し、更新規定の見直し(実績管理、カード制)、フォローアップ講習の導入
 - スキルアップ施策
 - ・スキルアップ講習会の導入、協会ホームページによる情報発信
- ② 国内レフリー技術向上のための活動
 - レフリーワークショップの開催(オンライン)
 - 国内公認大会におけるレフリーアセスメント実施
 - 学連主催レフリー講習会への講師派遣
- ③ 情報提供活動
 - オンラインワークショップでの情報提供
- ④ 公認資格に関する活動
 - 審判講習会及び試験の開催(各支部)推進
- ⑤ レフリー派遣活動
 - 大会へのレフリー派遣(学連委員会、各主催大会実行委員会との連携)

<総務委員会>

① 会員募集の作業と情報管理

- 2025年度会員情報の管理及び更新作業
- 2026年度の会員募集に関する作業
 - ホームページ及びスポーツエントリー(ウェブサイト)での募集案内
 - スポーツエントリー(ウェブサイト)での申込受付

② JOC・JSC・JADA 等、各加盟団体との連携

- 申請及び報告作業
- 加盟団体主催の講習会及び研修会への参加

③ 会議体運営

- 総会の準備・運営
- 理事会・常務理事会・専門委員長会議の準備・運営
- Teams の活用による、各組織・委員会への情報共有

④ 各種規程類の整備

- 規則公認委員会との連携による規程類の整備と制作

⑤ 事業計画

- 各委員会、大会実行委員及び担当者との連携による2026年度事業計画の策定と理事会での承認作業

⑥ 財務管理

- PCA を活用しての財務管理
- 公認会計士及び協会監事による会計監査の実施と2024年度財務諸表の理事会及び総会での承認作業
- 2025年度の人事労務・経理入力および管理
- 2026年度の予算案の策定及び理事会での承認
- 各種助成金に関する調査、申請と報告業務
 - 日本スポーツ振興くじ助成 公式機関誌制作及びガバナンス研修会
 - 日本スポーツ振興基金助成 第54回全日本スカッシュ選手権大会
- JOC 補助金に関する申請と報告業務
 - 選手強化事業に対する精算と報告
- その他の助成金等に関する申請と報告
 - ミズノスポーツ振興財団助成金の2025年度の申請と2024年度の報告
 - 公益財団法人東京都スポーツ協会 令和 7 年度輝け！TOKYO 未来アスリート応援事業の申請と報告
- 公益社団法人定期報告

- 2024年度定期事業報告提出⇒2025年6月
- 2026年度定期事業計画提出⇒2026年3月

⑦ 各支部との連携

- 公認大会や講習会開催に関する事務的作業
- 各支部の会員データ提供と給付金の送付

⑧ 普及事業へのサポート

- エアスカッシュキャラバン開催におけるスケジュール管理と事務的サポート

⑨ 各種公認に関する事務的作業またはサポート

- 公認審判員・公認コーチ・公認普及トレーナーの公認及び更新作業

⑩ 機関誌制作のサポート(マーケティング委員会広報部会との連携)

- 素材の選定及び記事作成
- 編集及び校閲作業

⑪ 国際部報告

- 世界スカッシュ連盟(WSF)、アジアスカッシュ連盟(ASF)をはじめとする国際連盟、関係各国協会、PSA(プロ協会)の情報収集と連携
- WSF 及び ASF 主催の会合・総会への出席(オンライン含む)
- WSF 及び ASF からの情報の確認と共有
- 2028年オリンピック予選システムの確認と共有
- ワールドマスターズゲームズ 2027 関西の組織委員会との連携及び京都市実行委員会、JSA 関西支部との連携作業
- 国際大会における代表選手派遣手続きのサポート
 - 世界学生選手権
 - ワールドゲームズ2025成都大会
- WSF スカッシュルール改定に伴う、JSA スカッシュルールブックの修正サポート

⑫ アスリート部会報告

- 部会内ミーティング開催
- 選手へのヒアリング作業
- 大会運営や競技関連ルールに関する提案

⑬ アンチ・ドーピング部会

- 日本アンチ・ドーピング機構(JADA)教育会議への対面出席(年1回の出席義務有)
- 強化選手への講習会の実施
 - 担当:承認 Educater 吉永・特別外部講師 岡田有史スポーツドクター
- 2026年度 JADA 年間計画書の作成

<地区支部委員会>

- ① 各地区支部の活動状況と課題の共有・解決策の検討
 - 会員拡大に向けた施策検討
 - コート保有施設の稼働状況
 - 支部主催大会の日程調整、レフリース講習会の実施
- ② 地区支部の意見集約をして常務理事会への提言・提案を行う
 - 常務理事会及び専門委員長会議の協議事案に対する、地区支部の意見集約
 - 給付金制度の改革
- ③ 協会主催大会の運営協力
 - 主催する国内大会、国際大会への運営協力
- ④ 地区支部に対する、コンプライアンス研修の実施

<マーケティング委員会>

- ① マーケティング部会活動報告
 - 協賛企業の新規開拓
 - NCS&A 社との新規協賛契約締結(プラチナ)
 - 既存パートナーとの協賛家役の継続
 - 協会主催大会における協賛企業の獲得
 - JOC マーケティング部との連携
 - NF ジョイントプログラムへの参画
 - TEAM JAPAN ブランド連携への参画
 - セールスシート及びオフィシャルパートナープログラムの更新
- ② 広報部会活動報告
 - 機関誌「SQUASH」の制作
 - HP の更新、SNS、各種メディアへの情報発信
 - 公式 HP PV、Facebook 閲覧数、Instagram 閲覧数、YouTube 閲覧数の可視による評価
 - メディア対応
 - 主催大会におけるメディア対応
 - 各種取材への対応(各メディア)

<学連委員会>

月1回の定例会議の開催は定着化。参加メンバーも全日本学連委員長と幹部数名にとどまらず、他の役職あるいは東北、関西、九州など地方からの参加者も増え、情報共有・ディ

スカッシュの広がりを見せた。

- ① 全日本学生連盟との定期ミーティング開催(毎月)
- ② 学生向け審判講習会の発案(レフリー委員会と連携)
- ③ 全日本アンダー23の学生協力依頼と実施
- ④ 登録料に関する協議と確認
- ⑤ 課題についての取り組み
 - 有料コート問題
 - 段階を追っての情報共有と協議の実施
 - 次年度も継続討議
 - レフリー・マーカールールの確認とレベルアップ
 - レフリー講習会予算を2回に増やし開催
 - 多くの学生にリアルの場での体験学習を提供
 - 学生引継ぎ時の不備解消策
 - 記録を残す、規程を整備するなどのサポート
 - 大学OBの組織化
 - 各大学へのOB会組織に関するアンケートを実施
 - 次年度以降も継続討議

<科学委員会>

- ① スポーツ医科学分野におけるスカッシュ関連の文献調査
 - ② 国立スポーツ科学センター(JISS)において実施されたフィットネスチェックのデータマイニング
 - ③ スカッシュ関連の科学実験(順天堂大学における卒業論文、修士論文)
- ※活動報告の参考資料としまして、「2026年4月科学委員会報告資料」をご参照ください

<アジア競技大会準備委員会>

- ① 2026愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会との連携
 - 会場・人材・設備・備品等に関して
 - 競技に関して
 - ASFとの連携
- ② 同組織委員会への職員出向
 - スポーツマネージャー(足立)
 - テクニカルオペレーションマネージャー(吉永)

- ITO/FOP/リザルトチームなどの SV(サービスマネジャー)職員出向及び派遣への準備
- ③ テストイベント実施に向けての準備
 - 4面グラスコートの搬入(契約及び輸出入関係一切)
 - 上記に関わる会場との契約及び受け入れ準備
 - 4 面グラスコートの設置/撤去の管理スケジュール調整
 - AINAGOC の各 FA との調整
- ④ 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向けての機運情操
 - 上記に関わる広報との調整
 - イベント実施/エアースカッシュ

<WMG 関西2027準備委員会>

- ① 事業報告の概要
 - 2025年台湾大会の視察
 - ワールドマスタースゲームズ2027関西京都市実行委員会との現地視察と打合せ
 - ワールドマスタースゲームズ2027関西の認知拡大のためのイベント参加と視察
- ② 事業報告の内容
 - 2025 年台湾大会の視察 ※台北市・桃園市
 - 京都市内会場視察および打合せ
 - 京都市中京区子ども向けスポーツイベント(エアースカッシュ)
 - WMG への普及告知活動
 - 京都市実行委員会との打合せ
- ③ 大会関係機関との協議京都市大会実行委員会
 - 予算協議(京都市)
 - エントリーに向けた準備及び告知(京都市)
 - プレ大会開催に関する準備および協議(京都市)
 - 大会開催会場に関する申し合わせ(WSF)
 - 大会告知に関する広報活動(協会 HP、SNS)
- ④ その他
 - 各種イベントでの大会告知活動

以上